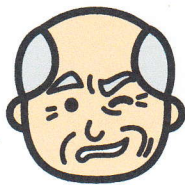


突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える



高齢者



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

けいれん

- けいれんが止まらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど



吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせた



事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

※発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来／かかりつけ医／地域外来・検査センターを受診しましょう。
※さらに、119番通報などの判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口(＃7119等)にご相談下さい。

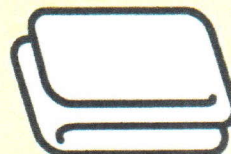


救急車が来るまでに、用意しておく便利なもの。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)

乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル

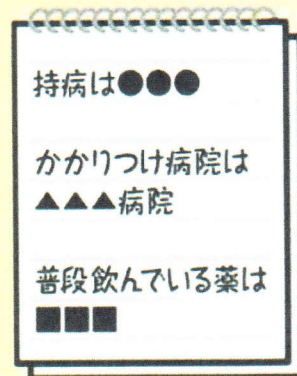


救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故の状況や体調が悪くなってから
救急隊が到着するまでの様子やその変化
- おこなった応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報

持病、かかりつけの病院やクリニック、
普段飲んでいる薬、医師の指示など

- 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、
日頃からメモにまとめておくと便利です。



※ 119番は携帯電話でも、直近の消防署へ繋がります。稀に近隣の市町村消防署へ繋がってしまう場合もあります。その場合は現場のある市町村消防へ転送してくれます。

※ 「救急車で病院へ受診すると、待ち時間なしで診察してくれる」「今日入院予定のため病院まで運んでもらいたい」等、救急車はタクシーではありません。命に関わる傷病者が救急車を待っています。救急車の適正利用をお願い致します。

ご相談・ご質問等ある場合はご連絡下さい。

【増毛町消防本部警防課救急救助係 0164-53-2175】